

箱根町の今後の行財政運営に関する提言書
(9月15日の提言書の第2回確認時からの修正箇所)

○ 4 ページ (4) 町民・事業者の姿勢について

修 正 前
<p>(4) 町民・事業者の姿勢について</p> <p>先に箱根町の財政問題については、行政に広報不足の面があったことを指摘しましたが、一方で、情報の受け手であり行政サービスの最終的な受益者である町民・事業者が、これまで行政や町財政に対して無関心であったことも認めざるを得ません。また合併前の旧5か町村を色濃く残す現在の行政区域における、施設や各種行政サービスへの平等意識が招いた弊害も否定できません。</p> <p>町民会議に参加した私たちは、これまでのように行政や議会任せの状態では、次世代に負の遺産を残すことになりかねないという強い危機感を共有しています。箱根町が困難な財政問題に直面している現状においては、受益者負担の観点から行政サービスの経費配分の見直しを受け入れることはもとより、財政状況に見合う水準に行政サービスを削減することを私たち自身が自戒の念を持って声を上げていくべきであると考えています。</p>

修 正 後
<p>(4) 町民・事業者の姿勢について</p> <p>先に箱根町の財政問題については、行政に広報不足の面があったことを指摘しましたが、一方で、情報の受け手であり行政サービスの最終的な受益者である町民・事業者が、これまで行政や町財政に対して無関心であったことも認めざるを得ません。また合併前の旧5か町村を色濃く残す現在の行政区域における、施設や各種行政サービスへの平等意識が招いた弊害も否定できません。</p> <p>町民会議に参加した私たちは、これまでのように行政や議会任せの状態では、次世代に負の遺産を残すことになりかねないという強い危機感を共有しています。<u>確かにこれまで、住民の生活に関わる行政サービスの見直しや各種団体向けの補助金の削減などが続けられ、住民としてはこれ以上の大幅な歳出削減を受け入れることは難しいと感じる部分があります。</u></p> <p><u>一方で箱根町が困難な財政問題に直面している現状においては、受益者負担の観点から行政サービスの経費配分の見直しを受け入れることはもとより、財政状況に見合う水準に行政サービスを削減することを私たち自身が自戒の念を持って声を上げていくべきであると考えています。さらに言えば、このような状況下では、行政に頼るのではなく、むしろ町民・事業者が自分たちでできることは自ら行うことを積極的に提案していく姿勢を持つことも必要です。</u></p>

計画 1 : 「子育て家族の戸建永住推進計画」

① 教育環境の整備と特色ある教育の実施

修 正 前
<p>■ 具体策</p> <p>計画 1 : 「子育て家族の戸建永住推進計画」</p> <p>① 教育環境の整備と特色ある教育の実施</p> <ul style="list-style-type: none">・ 小中 9 年間の一貫教育の実施 <p style="margin-left: 2em;">英会話</p> <p style="margin-left: 2em;">国際観光地を生かした観光教育・外国人へのおもてなし教育（外国語を含む）</p> <p style="margin-left: 2em;">地域特性を生かした教育（特にスポーツや火山・地質学に関する教育）</p>

修 正 後
<p>■ 具体策</p> <p>計画 1 : 「子育て家族の戸建永住推進計画」</p> <p>① 教育環境の整備と特色ある教育の実施</p> <ul style="list-style-type: none">・ 小中 9 年間の一貫教育の実施 <p style="margin-left: 2em;">英会話（削除）</p> <p style="margin-left: 2em;">国際観光地を生かした語学・観光・おもてなし教育（外国語を含む）（削除）</p> <p style="margin-left: 2em;">地域特性を生かした教育（特にスポーツや火山・地質学に関する教育）</p>

計画2：「子どもからお年寄りまで安心して暮らせる町計画」

④ 地域コミュニティの充実

修 正 前
<p>■ 具体策</p> <p>計画2：「子どもからお年寄りまで安心して暮らせる町計画」</p> <p>④ 地域コミュニティの充実</p> <ul style="list-style-type: none">・生活支援ボランティアの地域配備・町立小中学校を中心としたボランティア活動の充実<ul style="list-style-type: none">子どもたちの成長に地域が関わる仕組みづくり登下校の見守り活動現代版寺子屋

修 正 後
<p>■ 具体策</p> <p>計画2：「子どもからお年寄りまで安心して暮らせる町計画」</p> <p>④ 地域コミュニティの充実と<u>町民参加の促進</u></p> <ul style="list-style-type: none">・生活支援ボランティアの地域配備・町立小中学校を中心としたボランティア活動の充実<ul style="list-style-type: none">子どもたちの成長に地域が関わる仕組みづくり登下校の見守り活動現代版寺子屋 <u>(シニア世代による放課後遊びや放課後教育への支援・教育)</u>・<u>自治会、老人会、女性会などへの参加促進</u>・<u>生きがいややりがいの場の確保</u><ul style="list-style-type: none"><u>経験豊かな人材の活用策の検討 (シルバー人材センターの充実)</u>

○24 ページ 附属資料5 町民会議の開催状況
 (2) 平成 29 年度

■修正前

回 数	主 な 結 果
委員アンケート③ 平成 29 年 7 月	町民会議の成果物（意見書）のとりまとめ方について これまでの議論を踏まえて、今後とりまとめる意見書に盛り込むべき内容等についてアンケートを実施
第 4 回 平成 29 年 9 月 29 日	(1) 成果物（意見書）の内容確認 (2) 町民会議の今後のあり方の意見書への反映方法
第 5 回 平成 29 年 11 月(予定)	(1) 成果物（報告書・意見書）の提出

■修正後

回 数	主 な 結 果
委員アンケート③ 平成 29 年 7 月	町民会議の成果物（意見書）のとりまとめ方について これまでの議論を踏まえて、今後とりまとめる意見書に盛り込むべき内容等についてアンケートを実施
<u>意見交換会</u> 平成 29 年 9 月 22 日	<u>交通事業者との意見交換会</u> <u>町内の交通問題についてバス事業者 2 社と委員間の意見交換</u>
第 4 回 平成 29 年 9 月 29 日	(1) 成果物（提言書）の内容確認 (2) 町民会議の今後のあり方の意見書への反映方法
第 5 回 平成 29 年 11 月(予定)	(1) 成果物（提言書）の提出